

JAMP information

『投稿！わがまち自慢の一枚』 沖縄県与那原町

沖縄県与那原町は、沖縄本島東海岸南部に位置し、県内では2番目に小さく、沖縄本島で最も小さい町です。

琉球王朝時代、海からは山原船（ヤンバル船）が入港し、陸では馭者（馬車スンチャー）が活躍する交通の要であり、1914年（大正3年）には、県営鉄道与那原駅が完成したことにより商業の街として栄えました。



「与那原大綱曳まつり」与那原町

現在も南部と中部を結ぶ沖縄本島東海岸の沿岸交通の要衝となっております。

そんな与那原町は、那覇大綱挽、糸満大綱引と並ぶ沖縄県の三大大綱引きの一つである「与那原大綱曳」で有名な町です。

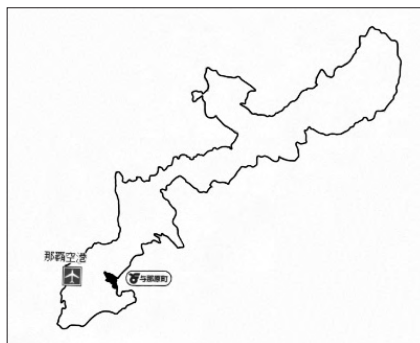
450年余の伝統を誇る神事を地域みんなで、脈々と継承してきたことが評価され、2019年（令和元年）には、ふるさとイベント大賞「内閣総理大臣賞」を受賞いたしました。

表紙の「与那原大綱曳まつり」は、新型コロナウイルス禍を経て4年ぶりに開催され、県内外から約6万人の綱の引手と見物客が集まった、大綱曳の迫力と観衆の興奮が伝わる一枚となっております。

「伝統とやさしさを未来へつなぐ海辺のまち与那原町」へお越しいただき、歴史ある文化を体感していただければ幸いです。



与那原町観光ポータルサイト



※アカデミアでは、「広報の効果的実践」研修の修了生や自治体の広報担当者を対象に、キラリと光るふるさと自慢のフォトスナップを、表紙の写真として募集しています。詳しくは市町村アカデミー調査研究部043-276-3127までお問い合わせください。